

2月1日（水）県立図書館を訪問しました！

## 対談テーマ

### 読書活動の推進、生涯学習の振興と 図書館を生かしたまちづくりについて

読書活動の推進、生涯学習の振興や、まちづくりの拠点としての図書館の役割、活力ある地域づくりや社会で活躍する人材の育成をめざした図書館等での学びの支援等の在り方について対談しました。

## 訪問した委員

岡崎 正彦 委員      野村 早苗 委員      石井 太 委員



## 県立図書館について

県民の「知りたい」「学びたい」という思いに応えるため、市町の図書館と協力して「本（資料）」と「人」のネットワークを形成し、滋賀県全体の図書館サービスの充実を目指しています。最近では、障害の有無にかかわらず、誰もが読書に親しめる取組や、デジタルアーカイブの新規構築・オンラインサービスの拡大等、DXに関わる取組なども進めています。

## 意見交換より



委員：来館利用の促進のために、どのような取組をしているのか。

図書館：子ども向けには「おはなし会」や「ほんまつり」の開催、大人に向けては関係部局との連携企画やロビーコンサートなども行ってきた。

委員：高いポテンシャルをもっている図書館である。公園などの周辺の環境を生かして、読書活動の推進が図れるとよいのではないか。

委員：知の宝庫である県立図書館に収められている本と県民のニーズとのマッチングを、DXやAIを活用して高めることができないか。

図書館：個人の読書履歴が残せないため、図書館から個別に本をおすすめすることは難しいが、新着図書を案内するサービスに、関心がある分野を登録していただくことで、新着図書の情報を届けている。また、季節や社会情勢に応じた本を展示して、利用者と本をつなぐ取組をしている。

